

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 11 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '南学校給食センター運営事業' and '学校教育の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (南学校給食センターの業務を円滑に運営し、文部科学省「学校給食衛生管理の基準」に沿って児童生徒の心身の健全な発達のため、バランスの取れた安心安全な給食を提供している。), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (栄養教諭の指導の下、調理員と調理補助員で調理業務を担当。)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ④活動指標 (活動量を表す指標), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for school lunch provision and safety.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 26, 27, 28, 29, and 30 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 人件費, and トータルコスト(A)+(B).

Table showing internal costs for 27 and 28 fiscal years. Lists items like 01 報酬, 04 共済費, 09 旅費, 11 需用費, 12 役務費, 13 委託料, 14 使用料及び賃借料, 18 備品購入費, and a total (合計).

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists main tasks: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

| | | | | | |
|-------|---------------|---------|-------------|-----|-----------|
| 事務事業名 | 南学校給食センター運営事業 | 事務事業No. | 30101000404 | 所属課 | 桜川南学校給食セン |
|-------|---------------|---------|-------------|-----|-----------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| | |
|---|---|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? | 昭和42年旧真壁町・大和村で「筑ろく地方学校給食組合立学校給食センター」を設立、平成17年10月1日町村合併により「桜川市南学校給食センター」となる。真壁大和地区の小中学校9校と幼稚園2園の給食を提供していたが、平成25年9月桜川市学校給食センター稼動に伴い、学校給食提供校は真壁小・紫尾小・桃山中・まかべ幼稚園の4校となる。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? | 学校給食は、桜川市の未来を担う子どもたちの健全育成に大いに役立っており、これからも安心安全でおいしい給食の提供を望んでいる |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

| | | |
|-----------|--|---|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) | 桜川市未来プロジェクト「明日を支える人づくりプロジェクト」の食育普及事業において、学校給食を通して子どもたちの食育指導を実施している。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) | 桜川市の児童生徒園児に対し、心身の健全な発達のためにバランスの取れた安心安全な給食を提供する事業である。 |
| | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) | 給食センターの主業務である安全安心かつ栄養バランスのとれた給食の提供は実施できている。 |
| 有効性 | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) | 保護者にとって学校給食は家事と職業の両立の助けになっているとともに、子どもたちの栄養バランスを考えると必要な事業である。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 | 給食数が新学校給食センターの処理能力内になるまで南学校給食センターは稼動となる。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) | 年々給食数は減少しているが、品質や衛生面において安心安全な給食を提供するには、現状を維持する必要がある。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) | 児童生徒園児に対し給食を提供する事業であり、給食費の範囲で実施しているため適正である |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|----|----|----|----|----|--|---|---|----|---|---|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) | | | | | | | | | | | | | |
| ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり | 給食センターの主業務である安全安心栄養バランスのとれた給食の提供は実施できている。 | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 □ 休止 → ■ 現状維持 | <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> | 成果 | 向上 | 削減 | 維持 | 増加 | 維持 | | ○ | × | 低下 | × | × | × |
| 成果 | 向上 | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | ○ | × | | | | | | | | | |
| | 低下 | × | × | × | | | | | | | | | | |
| (6) 事務事業優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果優先度評価結果 | ② | | | | | | | | | | | | | |
| コスト削減優先度評価結果 | ⑦ | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|--|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) |
| 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | 確認欄 <input type="checkbox"/> |